

## 在宅医療・介護連携推進事業：住民啓発（事例）

### 公立鳥取環境大学：ACP・ALPワークショップ（SDGs事業）

テーマ： 人生会議をしてみませんか？

日時： 令和4年8月8日（月） 13:00～14:30（90分）

場所： 公立鳥取環境大学

参加者： 9名

【内容】 もしバナゲーム、パンフレット「みんなでささえあおう」、ACPノート「わたしの心づもり」、啓発用動画「我が家（うちげえ）に帰りたい」を用いたACP・ALPの啓発。



#### 《概要：講師コメント》

鳥取環境大学の学生が企画・運営を行うACP・ALP（アドバンス・ライフ・プランニング）のワークショップにて講演を行いました。

冒頭ではもしバナゲームを用いて自己紹介とグループワークをしていただきました。

パンフレット「みんなでささえあおう」を通じて、地域での支え合いや“自助・互助”の重要性を説明。また、啓発用動画の事例を提示し、実際に自分が人生の最終段階であったらどうしたいかをワークシートに記入し、各グループ内でそれぞれの思いを共有していただきました。

若い世代には少し難しい内容であったかもしれませんが、ACPを考えることでこれからの人生をどう生きていきたいか、自分の価値観・人生観を考えるきっかけになればと思います。

#### 《参加者のこえ》

- ・初めて自分の人生における価値観について考えられた。
- ・自分の大切にしているものが分かったので、これからの人生における選択に役立てたい。

【講師】 東部医師会在宅医療介護連携推進室：多賀 博則

【ファシリテーター】 " : 大島 ゆかり、小林 梨恵